

えんそく ばんぱくきねんこうえん たいよう とう けんがく にほんていえん さんさく

遠足『万博記念公園 太陽の塔見学と日本庭園散策』

2023年 5月 26日 (金)

5月 26日午後より、万博記念公園へ遠足に行きました。

太陽の塔の中を見学し日本庭園でみなさんと交流を深めました。参加者は38名（うち大人37名、幼児1名）です。



太陽の塔は、1970年に開催された大阪万博のシンボルとし

て、芸術家の岡本太郎がプロデュースした巨大な彫刻です。

高さ70メートル、基底部の直径20メートル、腕の長さは25

メートルあります。お腹についている『太陽の顔』は現在、頂部の『黄金の顔』は未来、背面の『黒い太陽』は過去を表しています。内部は予約制で見学できるようになっており、とても人気があります。私たちの他にも多くの家族連れや高校生の団体が見学をしていました。



入ってすぐに目を奪われるのは、赤い空間の中、地下から上へ伸びるとても巨大なオブジェです。岡本太郎が構想した独特で個性的なこの造形は『生命の樹』と名付けられ、高さは41メートルあります。生命の樹は下から上に向かって進化を表現しています。

単細胞生物からクロマニヨン人まで、進化をたどる33種の生き物が生命の樹に展示されていて、わたしたちは階段を上りながら、原生類から哺乳類への進化を見学しました。

岡本太郎の豊かな想像力、芸術性に圧倒される思いでした。

その後、緑豊かな園内を散策、美しいバラを鑑賞し日本庭園へ移動しました。

日本庭園の心字池の前にすわって、みんなで自己紹介をしました。なかなか一堂に会してお話する機会がないので、お互いに興味津々。学習者のみなさんからは、自己紹介だけでなく、「生命の樹」に感動したことなどが表情たっぷりに語られ、支援者さんの間では「万博開催は〇〇歳のときだった」「おお」というやりとりもあり、とても和みました。

お天気にも恵まれ、楽しい1日でした。

